

四日分會社規定ノ退職給以外解散可トシテ全ニ万圓
 支給方ヲ迫リタルニ會社側ハ一万四千五百圓ヲ固持
 了議ラズ茲ニ於テ職ニ側ハ別室ニ退キ議議ノ上併ニ茶
 トシテ追次ノ争議ニ参加セザル後任職ニ(組長任長)ハ
 名ヲ除キ百十三名ニ於テ一萬八千圓ヲ支給方交渉セル
 加是又會社側ノ拒絶ナル處トナリ交渉不調ニ終リタル
 加四月午後一時ヨリ職ニ側者田淵太郎 岩内善作 野口三郎
 (以上組合應請者) 小林友彦 杉崎武市ハ會社側代表本城工場長 田
 柳佐吉ト會見折衝ノ結果争議参加職ニ百十三名ニ於テ一万五千
 五百圓後任職ニ不参加八名ニ於テ三千圓ヲ支給ナルコトノ妥協成
 立シ午後七時同議解散セリ
 右及申(通)報候也

寫

場秘第八四八號

大正十四年七月十日

警視總監 太田政弘

内務大臣 若槻澂次 郎 殿
 社會局長 長田隆一 郎 殿
 東京地方裁判所 廣幸正 殿
 京都大阪神奈川廣知兵庫
 福長子系山梨埼玉

各府縣知事 殿

金線飲料株式會社職工解雇ニ伴フ

14.7.13
第923号

上會局